

小学校国語科における1人1台端末の活用シーン×StuDX Style

授業アイデア例

【出典】令和4年度 全国学力・学習状況調査報告書【小学校/国語】

「地域のためにできることについて話し合おう」
～互いの立場を明確にしなが計画的に話し合い、考えをまとめる～

〈実施対象学年〉
第5・6学年

【指導事例②】 自分の意見と友達の意見を比べる場面では、必要な情報を見付けるために、よい点と問題点などを整理できるようにする

【立場ごとに記録する(例1)】(話し合いながら)

<p>ごみ拾い ごみがいつも落ちている ○すぐに見える △捨てるのが難しい</p>	<p>花植え 公園に花が少ない △許可をもらう ○はなやかな感じになる △捨てるのが難しい</p>
<p>ペンキぬり 道具が重い感じがある ○明るい感じになる △自分たちでできるか分からない</p>	

それぞれの考えを付箋に書いてみて、よい点や問題点を後で比べてみよう。

付箋を改めて見ると、ごみ拾いと花植えは続けることが共通する問題だな。

【よい点と問題点に分ける(例2)】(話し合いながら)

	ごみ拾い	花植え	ペンキぬり
よい点	・すぐにできる	・はなやかな感じになる	・明るい感じになる
問題点	・捨てるのが難しい	・許可が必要 ・捨てるのが難しい ・花の準備が必要	・自分たちでできるか分からない ・ペンキが必要

それぞれのよい点と問題点を分けてみようかな。私はタブレットを使おう。

比べてみると、花植えは問題点が多く、いろいろなことを解決しないとイケないな。

※ タブレット端末等で、教師があらかじめ作成した表を児童に配付することも効果的です。

【観点を決めて比べる(例3)】(意見が出そろったら)

	すぐに見える	続けやすい	許可があるか
ごみ拾い	○	△	○
花植え	△	△	△
ペンキぬり	△	○	△

話し合いで出てきたそれぞれの考えについて様々な点から取り組みやすさを比べてみよう。

取り組みやすさを比べてみると、ごみ拾いがいちばん取り組みやすそうだな。

話し合うとき、目的に合った方法で情報を整理すると、必要な情報を見付けやすくなり、自分の考えをまとめるときに役立ちますね。

ポイント

話し合う際には、目的に応じて、自分に合った情報の整理の仕方を選択し、情報を整理すると、自分の考えをまとめる際の必要な情報が明確になります。

話し合う際に活用できるように、【知識及び技能】(2)「イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。」と関連させて指導していくことが効果的です。

【StuDX Style関連事例】



【使用するソフト(例)】

OS標準のプレゼンテーションソフト	Keynote	スライド	PowerPoint
OS標準のデジタルホワイトボードソフト	Jamboard	Whiteboard	

「考えをまとめる」とは、話し合いを通して様々な視点から検討し、互いの意見の共通点や相違点、利点や問題点等をまとめることです。話し合った後で考えをまとめる際には、様々な視点から検討したことを踏まえて、自分の考えをまとめることが求められます。

学習指導に当たっては、話し合いを始める際に話し合いの目的や方向性を検討すること、話し合いの展開や内容を踏まえて互いの意見を整理すること、様々な視点から検討して自分の考えをまとめることなどが重要です。

1人1台端末を活用することで、容易に話し合い活動の内容を可視化し、意見を整理・分析することが可能です。

また、共同編集機能を活用することで、学級全体の意見を共有しながら学習を進めることも有効です。